



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

会長 古田 和彦
副会長 秋元 美晴
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) 利根川 恵子 (川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 立花 明美

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

湘南・沖縄部部長 (DG) 黒川 勝 (金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題：「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」

<今月の聖句>

伊藤比朗美

それよりも、近いうちにお目にかかって親しく話し合いたいものです。あなたに平和があるように。友人たちがよろしくとっています。そちらの友人一人一人に、よろしく伝えてください。

(ヨハネの手紙 三 14-15)

今月のひとこと

「子どもたちに見せる大人の姿勢」

佐竹 博



新しい年を迎えました、皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年を表す漢字は「税」でした。公益財団法人日本漢字能力検定協会のプレスリリースによると「税」が第1位になった理由として、①1年を通して増税論議が活発に行われた。②所得税・住民税の定額減税が話題になった。③インボイス制度など多岐にわたる税にまつわる話題が取りざたされた。と3つの理由がありました。YMCAでも10月のインボイス制度開始に備え、職員への周知と準備をおこな

ってきました。レシートに事業者登録番号があるかどうかは積みも積もって決算時の消費税額に影響するのでセンシティブになります。今やレシートをもらうとき「T」のついた番号が「ある」か「ない」か、が金額よりも気になってしまうくらいです。国の財政を税収で支えるための増税と、市民生活を守るための減税が選挙対策などと相まって「増える・減る」の印象で語られていて、本当のところはわからない現実にもどかしさを覚えます。印象でいえば「税」が「増税メガネ」なるたとえで一国の総理大臣が嘲諷される事態に。50年近く寝ているとき以外は常に着用しているメガネユーザーの私としてはメガネで人柄を表すなんて、面白くない事態です。

さて、2023年を表す漢字の第2位から10位は「暑」「戦」「虎」「勝」「球」「高」「変」「増」「楽」、11位から20位は「翔」「争」「熱」「明」「新」「金」「和」「優」「侍」「幸」でした。10位までは、大体想像の付くものが占めていますが、10位の「楽」は、コロナの5類移行以来の解放感や、制限なく楽しめる雰囲気だったか、と想像します。11位以降の中でも「明」「和」「幸」などわずかですが、ポジティブな感じが入ったことにも希望を持ちました。

世の中には、争いごとを連想させる言葉や、もともと軍事的に用いられてきた単語が一般に転用されているものが多く存在します。私たちもついつい便利で用いてしまうことがあります。「戦略」「戦術」「最前線」「ターゲット」などです。YMCAに参加していただく方々を攻略したいわけではないのに「広報戦略」を練ったり、YMCAの価値をプログラムとして参加者に伝えているスタッフは戦っているわけではないのに「最前線」化したり、地域にいる子どもたちに来てもらいたいのに「ターゲット (標的)」にしたり、便利に考えることなく言葉を用

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

いていることに責任を感じます。今繰り返し戦地の悲惨な映像が報道で流れています。破壊された市街、廃墟のような自宅で暮らす家族。傷つき運ばれる子どもたちなど、繰り返し流される映像を見続ける日本の子どもたちの心の成長にどのような影響があるか心配しています。同じように私たちも繰り返し耳から入る言葉を、気を付けて使っていこうと思います。

<2023年12月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 6名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 6名	67% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

<1月の行事予定>

EF・JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
13	土	17:00	YMCA ワイズ合同新年会 兼横浜クラブ第一例会	廣東飯店
18	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

<12月第一例会報告>

古賀 健一郎

日時：12月14日（木）14：00～17：50

場所：横浜中央YMCA+YMCA周辺

出席者：秋元 大高 齋藤 立花 古田 古賀

横浜クラブは、横浜中央YMCAを例会の会場として利用しており、今回の12月の第一例会では、横浜中央YMCAの主な事業施設を見学することにしました。この見学は、YMCAの事業に対する理解を深めると同時に、横浜YMCAと共に横浜の地域社会への貢献を目的としています。

【横浜中央YMCAの主な事業現場を見学】 (14:00～17:00)

① YMCA Global Kindergarten

YMCA Global Kindergartenでは、神様から「いのち」を与えられ、愛されているかけがえのない存在である子どもたちの個性と人格をありのまま受けとめ、尊重し守り育てていきます。6歳までの乳幼児期の発達後の人格形成にとって非常に重要なものとなりますが、子どもたちはYGKでの様々な活動を通して、自分と他者との違いを知り、自分と他者を肯定し、互いを大切にする思いやりをもって、みんなが一緒に生きることを学び体験していきます。そして子どもたちは活動の中で自分を伝え表現する喜び、自然の美しさや不思議さに感動したり、また子ども同士や様々な国の文化的背景をもつ教員との深い交わりを通して、それぞれの個性と多様性を尊重し相互に受けられるところと態度を培っていきます。YMCAは、子どもたちが、

YMCA Global Kindergartenで、コミュニケーションとしての英語のスキルを身に付けながら、夢や希望をもって健やかに成長し、将来、公正で平和な多文化共生社会を築いていく地球市民となっていくことを願っています。



② 横浜中央YMCA ウェルネススポーツクラブ



横浜中央YMCA ウェルネススポーツクラブの主な目的は、地域社会のメンバーに健康とウェルネスに関連する多様なプログラムと活動を提供することです。具体的には、ジムナスティック、アクアティック、バスケット

ボール&サッカー(協調性を養い、体力や集中力の向上を図る)、新体操、キッズ体操・水泳(能力別にグループ分けして段階的に習得)、空手(礼節を重んじる)、プレスクール、アート(感性を伸ばし豊かな表現力を育む)、キッズモダンダンス、ダンスを通じて、リズム感や柔軟性、体力向上を図ります。「みんなの元気が仲間を元気にする!」ことが、YMCAチアダンススピリットです。

★ベビースイミングクラス (6カ月～2歳のお子さまと保護者の方)

親子でのスキンシップを大切にしながら、保護者の皆様同士の交流も行なっています。

③ 横浜中央YMCA アフタースクール

2003年4月1日に地域からの要請を受け、横浜市の委託事業としてスタートしました。普段一緒に活動をする指導者が指



導に入るため、子どもたちの様子を見ながら臨機応変にクラス運営を行います。働くご家庭の支援、YMCAの豊富なプログラムを通じた子育て支援、子どもたちの成長

の支援を目的としながら、将来を担う子どもたちの幅広い考え、そして心豊かな成長を願います。

★湘南・沖縄部有志メンバーで設立した「子どもとともに絵本を楽しむ会」は、昨秋から隔月1回、横浜中央YMCAアフタースクールの子どもたちに絵本を読んでいます。

④AIDS市民活動センター

横浜AIDS市民活動センターは、公益財団法人横浜YMCAが横浜市からの委託を受けて運営しています。このセンターでは、HIV感染症およびエイズ(エイズは病気の名前、HIVはエイズを引き起こすウイルスの名前)に関する情報提供、学校や職場、市民活動団体への協力、青少年や一般市民を対象とした予防啓発活動を行っています。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



川島真理子センター長によると、エイズデーの開催に加え、学校での性教育も実施しています。特に性教育においては、人間関係における「同意」の概念を説明しながら、特に性的関係におけるその必要性に焦点を当てています。この教育アプローチでは、相手の意思を尊重し、相互理解に基づく合意の重要性を強調しています。

⑤中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」

中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」は、0～3歳児の親子が共に過ごせる施設です。ここでは、保護者同士が支え合い、情報交換を行うことができます。県外の利用者も受け入れており、さまざまな家庭が利用しています。施設長の二戸明美氏によると、特に0歳児の親に対する相談が多いとのこと



です。二戸氏は、「子どもに向かって『かわいいね!』と声をかけるだけで、育児に奮闘中のお母さんたちは大きな癒やしを感じます」と強調

しています。また、「のんびりんこ」は横浜シニアボランティアポイント施設にも登録されており、86名のボランティアがこのような形で支援しています。

(終わりに)

横浜中央YMCAの主な事業施設現場を訪問し、その成果を目の当たりにしました。訪問を通じて、YMCAが掲げる平和な社会の実現に向けた取り組みの重要性を深く感じました。「人」「社会」「自然」の相互関係を強化し、それぞれを尊重することで、神様から授かった「いのち」を豊かに育む社会の構築に向けた努力が着実に進行していることが確認できました。

【例会プログラムの残りの部分(今月の聖句・祈り、ビジネス)】

(17:10～17:50)

12月の例会では、横浜中央YMCAの事業施設現場を見学した後、横浜中央YMCA812教室に戻り、例会プログラムの残りの部分を簡略化して進行しました(ワイズソング・ワイズ信条唱和は省略)。押川沢江メネットの今月の聖句は、古賀ワイズによって代読され、その後お祈りが捧げられました。ビジネスの確認と今後の予定について話し合った後、12月の例会を閉じました。

第100回YMCA-Ys協議会報告

古田和彦

12月5日(火)19:00～20:30、第100回Y-Ys協議会がリアルで、湘南とつかYMCAを会場として開催されました。参加者は20名程でした。今回は、横浜とつかクラブが担当しました。開会礼拝では阿部正伴部担当主事が、イザヤ書42章1-9節を朗読、祈禱をささげました。次いで、とつかクラブの吉原訓会長が司会・進行しました。

先ず、佐竹横浜YMCA総主事と黒川湘南・沖縄部長から挨拶がありました。ご両名とも、この協議会が100回目を迎えたことについて感謝されました。特に佐竹総主事からは、年4回の開催なので、25年以上の期間、歴代総主事で言えば、山根・田口・佐竹と3代にわたり続けられていることが報告されました。

続いて、協議事項に入りました。①YMCAとワイズの合同新年会開催について。ワイズ側から1月13日(土)午後5時から、中華街・廣東飯店、会費5000円と提案があり、原案通り開催することに決定しました。②Y-Ys協議会の在り方について。若木一美ワイズから6月、12月は部長・総主事などそれぞれ人数を絞って開催してはどうかと提案があり、協議の結果、その対応は、佐竹総主事・黒川部長に委ね、原案をまとめていただくことになりました。③区レベルで進めている、ユースアクション事業について、ユース担当主査の板崎淑子ワイズからアピールがあり、YMCAリーダー以外からも応募が可能であることを確認し、適当な活動を推薦していくことを心掛けることとなりました。④区主催のユースボランティアリーダーズフォーラム(YVLF、9/30-10/1、山中湖)に参加した4人のリーダーと引率の山手台YMCAスタッフ田中さんから、参加報告がありました。そのあと、YMCAから、ワイズの多大の支援を感謝してチャリティーラン報告、ワイズメネットからの絵本贈呈(受けた)報告がありました。時間も押していたため、ワイズメンズクラブの報告は省略し、20:30に閉会しました。

横浜クラブの参加者：佐竹、立花、古田の各ワイズ

2023年度横浜YMCAクリスマス礼拝報告

秋元 美晴

2023年度の横浜YMCAクリスマス礼拝は、12月16日(土)の13時30分から日本キリスト教団横浜指路教会で開催されました。会員事業委員の千葉裕子さんの司会のもと、一部は礼拝で、二部はハンドベルによるクリスマス演奏が行われました。ハイブリッドで行われたためYouTubeでも参加する方もいらっしゃいました。

礼拝は、前奏、招詞につづき、横浜YMCA混声合唱団による讃美歌264番「きよしこのよる」の1番が賛美され、2、3番は全員で賛美しました。『聖書』ヨハネによる福音書15章11節から17節が拝読され、クリスマスメッセージを「わたしはあなたがたを友と呼ぶ」と題して、横浜指路教会の藤掛順一牧師からいただきました。

藤掛牧師は、「クリスマスは神がわたくしたちの友となってくれたことを喜び、祝う日である」とし、イエス・キリストが弟子たちに神の愛と意志を伝え、弟子たちはもはや「僕(しもべ)」ではなく神と「友」として関わることを選んだのだと説明しています。そして、「神は私たちを愛し、友として迎え入れた。イエス・キリストの誕生は、その愛を伝えるためのもの」だと強調しました。

また、イエスが私たちのために命を捧げたことに触れ、「友のために命を捨てることほど大きな愛はない」という聖書の言葉を引用し、さらに「私があなたたちを愛したように、互いに愛し合いなさい」という教えを通して、私たちがその愛に応え、互いに愛し合うべきだと述べました。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

藤掛牧師は、YMCA の活動の基本精神がキリストの「愛と奉仕の精神」にあるとし、キリストが私たちを愛し、友として迎え入れた愛に応え、私たちも愛と奉仕の生き方を目指すべきだとも述べています。同牧師は新たに YMCA の職員となる人たちに対し、神の愛に応え、互いに愛し合うことで、YMCA での仕事が有意義で喜びに満ちたものになるように励ましました。最後に、神の愛を信頼し、その導きの下で働くことの重要性を強調しました。続いて、祈禱、献金、讃美歌、祝禱、後奏で礼拝は終了しました。

なお、当日のクリスマス礼拝に捧げられた国際・地域協力募金は、「ともに分かち合う募金」としても知られていますが、横浜 YMCA 国際事業委員会委員長の岡戸良子氏からこの献金への感謝と使途についてメッセージがありました。司会者より来年度から共に働く YMCA 新入職員の紹介があり、また、2月12日に行われる会員大会—ピースフォーラム—のお知らせがありました。最後に横浜 YMCA 佐竹博総主事より、横浜指路教会と横浜 YMCA との長きにわたる関係と、同教会への心からの感謝の挨拶がありました。

第二部は、横浜 YMCA Port Friends によるハンドベル演奏があり、心かよう天使の響きを聞かせていただきました。

新年の抱負

「新年の抱負」

2024 年の私の抱負は5つあります。

1. グループホームにいるもうすぐ 98 歳になる母と、82 歳の夫と少しでも多く一緒にいる時間をもつ。
 2. 昨年正式に会員にいただいた横浜 Y's Men's Club の会員として貢献する。
 3. 任期あと 1 年となった多摩市国際交流センターの理事長の職務を全うする。
 4. 日本語学習者のために助詞の本を日本語の先生たちと執筆する。
 5. 28 年間在職した恵泉女学園大学を存続させる。
- 5 は特に難しく五里霧中の状態ですが、今日の第 100 回箱根駅伝の母校青山学院大学の優勝を見て、感動して涙が出てきた自分を顧み、1 万数千人の恵泉女学園大学の卒業生の母校をなくすことはできないと強く思いました。



秋元 美晴

「お役に立てる状態になりたい」

昨年の新年の抱負で「願わくは、来年もまた当欄に現状を報告したいものである」と書いた。願いかなって再度書く機会が与えられたものの、さて、何を書いたら良いか。



伊藤誠彦

昨年 10 月、体調を崩し、2 週間入院、集中治療室で 10 日間を過ごした。寝たきりの生活だったこともあり体力が極端に落ちた。それ以来、ワイズでのお役目、ブリテン編集の役割も果たせず、古田会長はじめ多くの方にご迷惑をかけている。

まずは、体力を回復し、ただ生きているだけの状態（これ自体有り難いことではあるが）から早く脱出し、何とか世の中のお役に立てる状態を取り戻したいと願っている。

「先延ばしに終止符を」

大高 治

東京医科歯科大学大学院の摂食嚥下リハビリテーション学分野の研究チームと西区シニアクラブ連合会が連携して高齢者の「口腔・身体測定会」が実施され、その結果の報告会が昨年 11 月に行なわれました。測定会の際の一風変わったアンケートは、個人の性格と口腔の機能の関係を調べるものでした。

「今やるべきことを先延ばしにすることがあるか」、「将来の利益のために今ある利益を手放せるか」、「進んでリスクを取るか」という問いへの答えから、私は「先延ばしタイプ」であると判断しました。先延ばし傾向の強い人ほど、歯磨き回数が少なく、奥歯の噛み合わせスコアが低く、舌唇連動運動、舌圧、咬合力、咀嚼機能などが平均値を下回っているのです。

マンションでの募金では物忘れを補う為即応していますが、先延ばしをすると前の用事が終わらない内に次の用事が入って来ます。その結果、用事を溜めて焦り、良い結果を生み出せないだけでなく、精神上も良くありません。更に口腔に良くないことは体にも良くないのです。止めなければなりません。



「新年の抱負」

毎年、クリスマスの季節に正月を迎えることができ、感謝です。

今年のクリスマスは、長年の願いであった海外でのクリスマスを味わいたいと考えています。現役の牧師でもありますので、教会員の理解を得て、実現したいと思っています。

横浜クラブの例会にも少なくとも年 2 回出席を目指しています。本年も宜しく願いいたします。



押川幸男

「平安と安らぎある世界を」

私たちは、紛争や戦争が続く中で、平和が脅かされている厳しい現実に直面しています。しかし、先日の県立音楽堂でのヘンデルの「メサイア」全曲演奏会にて、私は深い感動を覚えました。プロの演奏者とアマチュアの社会人、そして



古賀 健一郎

メサイアに出会ったばかりの高校生が共に声を合わせ、永遠の生命と平和を願う素晴らしい賛美の響きによって、私たちの心は深く心を打たれました。絶え間ないアンコールの拍手は、この混沌とした世界において、神様の恵みへの心からの感謝を示しています。

神様、困難を抱え苦しむすべての人々に、平安と安らぎをお与えください。新年の静かな祈りの中で、私たちは神様の栄光に思いを馳せます。

「新年の抱負」

早いもので、新元号では令和6年である。西暦で見ても、間もなく、21世紀が4分の1を迎える。昨年は、特に夏の予定を徹底的に削り、遠出をせず静かに過ごすことにより、何とかパニック発作にまでは至らずに乗り切ることができた。しかし、自宅にこもっていたことの副作用で、明らかに体力は落ち、特に足の筋肉は著しく衰えていることを実感する。従前（2022年7月以前）と同じだけのワークをする状態には戻れない。従前がキャパオーバーであったがゆえの症状だからである。そのため、やることの総量は従前より幾らか抑えつつ、何とか体力作りはしていきたい。何ともシンプルな、今年の抱負である。

齋藤 宙也



「何か始めなければ」

藤沢市から借りている市民農園が3月に廃止となりました。2022年12月に「当選」の通知を受け取り、3年間継続したばかりでした。市が借りて私たちが利用しているのですが、土地の貸主の都合によるものだそうです。これにより私は2014年から続いた趣味が途切れることとなりました。9年前、仕事が増え、YMCAと家を往復するばかりだった時、趣味の時間の作れない姿をみて、後輩たちはこの先YMCAで仕事を続けたいと思ってくれない、と何の経験もないところから始めた趣味でした。食べるものを作る難しさを経験してみようと思ったことがきっかけでした。同じ農園を借りている地域の方に出張の時は水やりをしていただいたり、土の作り方や畝の立て方を教わったり、発芽した苗をおすそ分けいただいたり、地元のコミュニティに参加した実感もありました。市民農園が突如廃止になり、趣味と、地域コミュニティとの接点の一つが消えました。地元の人との交わり、そして趣味、なくなるとあせります。何か始めなければと思う新年です。

佐竹 博



「新年の抱負」

11月の訪日外国人旅行者数は、10月に続きコロナ前の2019年同時期を超えたと報道され、1月からの累計では、2200万人と8割まで回復、2023年度全体では9割の回復を見込んでいるという。一方で日本から国外への渡航は、コロナ前の5割弱の860万人と伝えられていて、円安の影響もあるだろうがコロナ禍からの回復の遅れが、このようなところにも現れている。2023年度、全国のYMCAの海外交流は徐々に回復し、次年度にはユースのワークキャンプ等を含めコロナ前の規模を目指しているYMCAが多い。

世界はウクライナとロシア、パレスチナとイスラエル、隣人愛を黄金律と唱えるキリスト教や、それにつながる背景を持つ隣国同士が戦いを続けており、隣人を愛することの難しさを教えられる。それでも隣国の隣人と、人間としての心の交わりを続けていきたい。新年2月には、第9回日中韓YMCA平和フォーラムが上海で行われる。あらためてコロナ禍を越えて、近隣国、アジア諸国の人々との交流を一層深め、日本の加害の歴史も含めて平和の基盤を広げる年にしたい。

田口 努



「ぼちぼち」

2023年度より横浜ワイズメンズクラブの担当となり、あっという間に年越しとなりました。右も左もわからない私を一から教えてくださり、感謝しております。コロナが開けて、オンライン授業で対面交流ができなかった学生たちが仲間との時間を楽しんでいる様子を見たり、外国人留学生の入学が多くなり全体の学生数が増えたりしました。横浜YMCA内は会員だけではなく、学生たちも増えて以前の活気を取り戻しているように思います。異動してきた私は、ペースが掴めず、慌ただしい日々を送ってしまいました。今年はいぼちぼち休みを取り、健康に留意し、自身の見聞を広げていきたいと考えています。

立花 明美



「新年の抱負」

今年3月で80歳を迎える。年ごとに知力・体力の衰えが進行するとともに、物事にすぐ取り組む気力がなく、ぐずぐずすることが増えてきている。しかし、平和や人権、環境問題など社会的課題に目を向け、問題意識を持ち続けることと、できる範囲でYMCAやワイズと共に行動していくことのできる自分でありたい。そのためにも、今与えられている健康を維持し続けることができるよう次のことを続けたい。①ラジオ体操を大雨と朝から出かける日以外は毎日実施する。②その結果でもあるが、一日、1万歩の歩行を欠かさない。

古田 和彦



今月の強調 JF のアピール

東日本区ワイズ基金へ献金をしましょう

ワイズメンバーの皆様、

- a 皆さまの献金は、東日本区の活動を永続させます。
- b 皆さまの献金は、東日本区の未来を形作り、夢を実現するために必要です。
- c 区やクラブの役員になられた方、楽しいことがあった方、喜びがあった方、お誕生日の方等々覚えて献金しましょう。
- d 支援先は、Change! 2022 や YMCA 同盟事業、YMCA への支援等におこなわれてきています。今後はもう少し身近なことへも支援できるように考えていきたいと思えます。これからも大切に用いさせていただきます。皆様のご協力よろしくお願いいたします。



担当主事 立花 明美

12月1日～7日の1週間、横浜 YMCA 全体で人権週間を各 YMCA/各施設で行われました。また12月25日からは冬期講習会がはじまり、専門学校では外国に繋がる子どもたちのための日本語教室、作業療法科2年生が病院や施設等で実習を行い、英語学校では中高生英語キャンプが東山荘で実施されました。

- ・12月1日(金)～7日(木) 横浜 YMCA 人権週間
- ・12月3日(日) あーすフェスタかながわ 参加
- ・12月9日(土)～10日(日) DeNA 人生ゲームイベント
- ・12月13日(水) 2024年4月期留学生申請①
- ・12月16日(土) 横浜 YMCA クリスマス礼拝 @横浜指路教会
- ・12月16日(土)～17日(日) 冬季キャンプリーダートレーニング @富士山 YMCA
- ・12月23日(土)～28日(木) こどもクラブ*24日休み
- ・12月25日(月)～29日(金) 健康教育部 冬季キャンプおよび講習会
- ・12月26日(火)～28日(木) 中高生イングリッシュキャンプ @東山荘
- ・12月27日(水) 2024年4月期留学生申請②
- ・12月27日(水) 常盤町町内会清掃活動
- ・12月30日(土)～1月3日 横浜中央 YMCA 休館期間

1月4日(木) よりアフタースクールと専門学校作業療法科が始まります。また1月6日(土) は横浜 YMCA 新年礼拝が湘南とつか YMCA のホールで行われます。

1月例会プログラム

日時: 1月13日(土) 17:00～19:00

場所: 廣東飯店

YMCA ワイズ合同新年会を第一例会とする

例会報告: 古田ワイズ

2月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	月	10:30	横浜 YMCA 会員大会 兼 横浜クラブ第一例会	湘南とつか YMCA
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花 明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080